

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------|--|---|--|
| 1.理念に基づく運営 | | | |
| 1.理念と共有 | | | |
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 理念の中には、地域密着の言葉はづたっていませんがパンフレットにおいて言葉を織り込み地域との関係が途切れることなく暮らせる様に心がけている。 | |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念を、朝の申し送り時に唱和することによって、常に忘れることなく理念に基づいたサービスが公平に提供出来る様に取り組んでいる。 | 今後も忘れることなく、理念に基づいたサービス提供に努めていきたい。 |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | グループホームの玄関及び各棟内の目に付くところに掲示して、ご家族や地域の皆様に、苑内行事などへの案内の声かけをし多くの方々に来苑して頂き、朝日苑の理念を理解してもらえよう努めている。 | |
| 2.地域との支えあい | | | |
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 訪問した場所や行きかう人々との挨拶を基本として、そこから発展する会話を大切にしている。 | 区長と連絡を取り、町内行事にも積極的に参加をしていき親交を深めていきたい。 |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 民生委員視察研修を町役場を通して受け入れをさせて頂き、交流を持つことが出来た。また、年2回の少年少女消防クラブの夜回りに参加させて頂き地域の父兄の方々と話が出来、さらに朝日苑を知ってもらうことが出来た。 | 職員や入居者様と共に地域の行事または、活動に積極的に参加し交流を深めていきたい。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------|--|--|-----|--|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 民生委員視察研修において、委員の方々と話しをすることが出来、地域の高齢者の暮らしがわかることが出来た。 | | 地域の高齢者などに対して事業所としてどのような事柄を提供出来るのか職員間で話し合い検討していきたい。 |
| 3.理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 昨年は、一部の職員のみで評価を行なったため自己評価の意義の理解が浅かったと思います。今回、全職員で話し合い評価を行なったことで、自分達の提供しているサービスの根拠を各個人で振り返ることが出来た。 | | 今後も、全職員で取り組み質の向上に努めていきたい。 |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回運営推進会議を行い、入居状況その間に行った取り組みを報告し、助言やアドバイスを頂くと共に地域行事やボランティア活動の情報を教えて頂き、どのような形でサービス向上に活かせるか努めている。 | | 地域行事については、職員のみが参加している事が多くもっと入居者様の参加を増やす様にしていきたい。 |
| 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 相談事があれば、市町村の担当者や連絡を取ったり訪問したりしている。また、行事の際は行政に案内を出したりして、行き来する機会をもっている。 | | |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 管理者は、外部研修に参加したり他の職員に対しては内部研修で講師を招き、理解の向上に努めている。また、テキスト研修報告書を冊子に綴じていつでも確認・説明できる体制をつくっている。 | | |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を得ておらず今後、研修などに参加し常日頃から虐待の見逃ごしが無い様に努めている。 | | サービス提供を行う上でも重要になるために全職員を対象とした内部研修を実施し理解を深めたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|--|--|---|
| 4.理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約書・重要事項説明書を、読み進め項目ごとに疑問を尋ね答える様にし、納得してサービスを受けて頂ける説明を心がけている。</p> | |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>入所者様からの意見・不満・苦情は、職員や運営者に相談し出来る事・出来ない事を伝え改善点などは運営に反映させる様にしている。また、相談介護相談員を受け入れ、入居者様が第三者へ会話が出来る機会を設けている。</p> | |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>2ヶ月に1回朝日苑便りを作成し、手渡しまたは、郵送して日々の生活をお知らせすると共に、連絡ノートを作成し面会時に日常生活の状況や近況・行事案内を報告し、緊急時には電話連絡を行っている。金銭管理については、出納帳をつけご家族に報告を行っている。</p> | <p>ご家族への伝達不足もあり、もっと連絡事項をきちんと誰でも説明できる連絡体制を確立したい。</p> |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>ご意見箱の積極的な活用を促すため、ご意見・ご要望書の書式を改め、ご家族に送付するなどして寄せられた内容を検討し運営及び体制の改善やサービスの向上に努めている。</p> | <p>ご家族が、意見や要望を述べやすい様に面談時の雰囲気づくりに努めたい。</p> |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>毎月、ミーティングを開き、各職員の自由な意見を聞く機会を設け、その意見を役職会議で検討し議題を決め、それを基に全体会議で職員からの意見を聞き、運営に反映出来る様にしている。</p> | <p>この流れも定着してきたが今後さらに深め実践に反映させたい。</p> |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>入居者様の状態に合わせて、適切な対応が出来る様に勤務時間の調整に努めている。</p> | |
| 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>配置転換を必要最小限に抑え入居者様に混乱が招かない様に配慮を行っている。</p> | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------|--|--|----------------------------------|
| 5.人材の育成と支援 | | | |
| 19 | <p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p> | <p>採用にあたっては、面接を行い働く条件に合った方を採用しています。事業所の職員についても自由に意見の言える雰囲気づくりや適性を見極めながら能力を發揮出来る様に心がけている。</p> | |
| 20 | <p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p> | <p>特別な活動は行っていませんが、必要な時はその都度、ミーティングを開き意見交換を行い、入居者様の尊厳が侵害されない様に取り組んでいる。</p> | |
| 21 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>外部研修の情報を提供して受講出来る様にしています。消防署主催の救命講習においては、全員が受講出来る様にしている。</p> | |
| 22 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>地域の事業所連絡会やグループホーム協議会の研修会に積極的に参加して同業者との係わりを持つ様にしている。</p> | |
| 23 | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | <p>運営者側より、職員の個別面談を行ったり、悩みや不満は管理者でも出来る限り対応し早く解決出来る様に努めている。</p> | |
| 24 | <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> | <p>心の奥を思いやる気持ちを持ち続けることがお互いの信頼感を強くすること、何々が出来ないより何々が出来たと良いことをより多く評価していくこと、事実を正しく把握することを指導している。</p> | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------|---|--|--|
| 1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 25 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>心身の状態に気を付け、アセスメントで情報収集を行い入居までに本人様に合ったサービスや環境作りが出来る様に取り組んでいる。</p> | |
| 26 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>相談の段階でご家族と話し合い、ご家族の気持ちの不安・意向を十分に聞き、本人様に何が必要かを受け止め、それぞれの思いを把握する努力をしている。</p> | |
| 27 | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>相談があった場合、本人様及びご家族の要望や意向を伺い「今、何が困っているのか。」を見極めフォーマル・インフォーマルのサービス利用を含め対応している。</p> | <p>相談内容によって朝日苑で対応できない場合は、地域包括支援センターや他の事業所のサービスを紹介するなど支援する。</p> |
| 28 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬよう徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>入居に不安がある方に対しては、体験利用・見学を通して施設の雰囲気を感じて頂く様にしています。また、入居開始当初は特に、ご家族の方との連絡を密にし話し合いの場を設けている。</p> | |
| 2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 29 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり支えあう関係を築いている</p> | <p>話しが好きな方、歌が好きな方など入居者様一人ひとりの個性を職員が引き出せる様に努めている。</p> | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---|--|-------|---|
| 30 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 面会時に職員から、ご家族に声かけをし、日々の様子を伝えたりまた、ご家族からも気軽に質問して頂ける雰囲気づくりに努めている。 | | ご家族と職員の信頼関係が保持出来る様に、日々ご家族とのコミュニケーションに努めたい。 |
| 31 | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している | 朝日苑便りの発行で苑の様子をお知らせしたり全体行事や月行事などに積極的に参加して頂く様にご家族の方に声かけを行う。面会時に職員が説明しながら苑内の個人製作展示物や行事の写真などを見てもらい生活様子を知ってもらうよう努めている。 | | 個人別の写真などファイルに収めて保管し、いつでも本人様やご家族の方が見れる様にしている。 |
| 32 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている | 知人などの面会時に居心地良く寛いで頂ける様に、職員は笑顔で挨拶しお茶等を出して楽しく話せる場を作り気持ちよく再来苑してもらう様に努めている。 | | プライバシーの保護を配慮した個人別の面会簿に記入して頂き、ご家族の方に面会状況も分かって頂く様に努めている。 |
| 33 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わりたい、支え合えるように努めている | 職員が入居者様一人ひとりの個性やその日の体調を把握し強制にならぬ程度に声かけをし、体操やレクリエーションなどに参加してもらっている。またソファなどに座る位置等を配慮し難聴の方や言語障害の方などの会話の橋渡しをして入居者様同士お互い楽しく過ごせる様に努めている。 | | 目配り、気配りを強化し入居者様同士お互い得手、不得手の所を支えあえる存在になれる様に職員が手助けを行っていきたい。 |
| 34 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 退居(入院)された場合でも面会に行ったりご家族が来苑されたら、こちらから電話をかけ近況を伺ったりして関係性を大切にしている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|---|---|---|
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | |
| 35 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>日々の関わり合いの中で声をかけ“何をしたいのか。どの様に過ごしたいのか、”意向や思いを把握し対応している。また意思疎通困難な方は、ご家族からの情報を得る様に努めている。</p> | <p>本人様の希望される事や意向を大切に、その思いが達成出来る様に更に検討していきたい。</p> |
| 36 | <p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>一人ひとりが歩んで来られた生活観や考え方を活かせる様に、最も適した生活環境を検討し支援している。</p> | <p>職員のセンター方式の活用及び理解が不十分であり研修などに参加し理解を深めサービスの向上・本人の状態把握に努めたい。</p> |
| 37 | <p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p> | <p>食事や睡眠・排泄・生活習慣などの中でどのような体調の変化があるか注意しながら支援に努めている。</p> | <p>申し送りや記録の内容不足をなくす様に指導の徹底を図る。また、センター方式を活用したり疾患・生活リズムを理解すると共に、出来ない事より出来る事により注目していきたい。</p> |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 38 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>個別に介護計画を作成しケアカンファレンスで検討している。本人様やご家族の要望がそれぞれある場合も、職員で検討し本人様に適した介護計画を作成している。</p> | <p>本人様の生活リズム、本人様にとって何が必要か、望んでいる事は何かなど職種を越えたチームとして検討し気づきやアイデアを反映した介護計画を作成していきたい。</p> |
| 39 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>介護計画が実践できたか3ヶ月ごとにケアカンファレンス及び見直しを行い継続的にフォローしている。また、本人様に状態変化があった場合は、現状に沿った対応計画作成を行って行っている。</p> | <p>状態の変化を見逃さない様に、気づきを大切に、より良い介護計画としていきたい。</p> |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|--|--|-----|--|
| 40 | <p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>職員がケアにあたった様子を個別記録に記入し、申し送りを行う事で他の職員も統一したケアを行うことが出来、それを基本とし介護計画に反映している。</p> | | <p>記録の記載内容などが不十分な部分があり記載方法の統一や、記入した以外の人が見ても分かりやすい記録となる様に取り組んでいきたい。</p> |
| 3.多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 41 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p>本人様やご家族の要望を活かすため、併設している小規模多機能型居宅介護施設でのレクリエーション参加や入浴及び機能訓練室にある各器具を利用したりして、個人にあった支援を心がけている。</p> | | |
| 4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 42 | <p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p> | <p>運営推進会議の委員に家族・区長・民生委員に参加協力を頂いている。また、防災訓練や救命救急講習など消防署の協力を得ている。</p> | | |
| 43 | <p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p> | <p>本人様やご家族の意向を中心に、他のケアマネジャーや地域以外の事業所と連携を図りながら支援している。</p> | | |
| 44 | <p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p> | <p>地域包括支援センターから入居者様の紹介を頂いています。受け入れ困難な事例については、その旨を伝え共に検討している。</p> | | <p>事業所のみでは解決困難な状況に応じて地域包括支援センターに相談・助言を求めています。</p> |
| 45 | <p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>本人様及びご家族が希望する医療機関に以前と変わらず受診出来る様に支援している。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|-----|----------------------------------|
| 46 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 入居者様に状態変化があり専門医の判断が必要と思われる場合には早めに受診を行い治療を受けられるように支援している。 | | |
| 47 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 毎日のバイタル測定や日常的な心身状態や健康管理を行い少しでも変化があった時や疑問点は看護師に報告している。状態変化時の連絡体制も出来ている。 | | |
| 48 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるようまた、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入院された際は、病院のソーシャルワーカーや看護師と情報交換を行い出来る限り面会に伺う様に心がけ、状態把握に努める様にしている。 | | |
| 49 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 本人様やご家族の意向及び状態を医師と共に話し合い、状態変化に対応出来る様に努めている。 | | 今後、入居者様やご家族の意向の書類を作成していきたい。 |
| 50 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 常に、ご家族の意向を聞き、医師と職員がこまめな連絡をとり、その時の最善な状態に対応できる様に努めている。 | | |
| 51 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | アセスメント、ケアプランや支援状況など詳しく聞き、注意点やくせなどきめ細かい連携を心がけ住み替えによるダメージを防ぐことに努めている。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|--|--|
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1.その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 52 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>常に、入居者様の目線に立ち尊敬の気持ちを忘れずに、さげない声かけや対応を心がけています。個人情報などの記録も直接目に触れない様に管理している。</p> | |
| 53 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたりわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | <p>入居者様の訴えに耳を傾け、一人ひとりの理解に応じた説明を行い、二択の選択しか出来ない様な問いかけはせず、多様な選択肢から自己決定が出来る様に努めている。</p> | |
| 54 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>入居者様の希望と、在宅での生活習慣に沿った柔軟な対応を心がけ、本人様のその日の体調や、気持ちのあり様に配慮したケアを実施している。</p> | <p>強い帰宅の訴えや落ち着きが観られない時は、入居者様の気持ちを尊重し納得頂けるまで行動を共にしている。</p> |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 55 | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | <p>起床時には、コミュニケーションを取りながら洗面所にて洗顔・歯磨き・整髪のお手伝いを身だしなみを整えている。また、理容は2ヶ月に1回、美容は毎月定期的に来て頂いたりパーマを希望される方はお店まで送迎している。</p> | <p>更衣時は、本人様の好む服装を一緒に選び、その人らしい身だしなみやおしゃれに努めている。</p> |
| 56 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>入居者様の意思を尊重し、買い物・調理・盛り付け・後片付けなど職員と一緒にしている。職員は、同じテーブルを囲んで同じ物を一緒に頂き2～3ヶ月に1度、入居者様の希望を取り入れ外食や出前を利用している。</p> | <p>苑の畑で栽培した野菜を入居者様と一緒に収穫し、調理をして語らいながら食事やおやつと一緒に作っていききたい。</p> |
| 57 | <p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | <p>入居者様が自宅にいる時と同様に楽しめるよう支援し、献立・おやつに取り入れている。</p> | <p>入居者様と職員で、近くのスーパーに買い物に行き好きな食材品など好みの物を買ってもらう様にしていきたい。</p> |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|--|--|-----|---|
| 58 | 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 排泄チェック表を作成し、個別の排泄パターンは把握できているので、いつもより長く排尿がない場合は声かけや本人様の状態によっては介助も行い衣類やパッド汚染・失禁をなるべく少なくする様に努めている。排便に関しても毎日チェックを行い便秘ぎみの方に対しては医師の指示を受け下剤・座薬を使用しスムーズに排便できる様に努めている。 | | |
| 59 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 毎日、体調不良の方以外、全員に声かけを行い本人様の希望される時間に入浴して頂いている。お風呂の温度は、本人様が心地よいと思われる温度に設定している。 | | 本人様の好みにより入浴剤を使用し香りよるリラックス効果を図っていきたい。 |
| 60 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 本人様のペースでベッドで休まれたり、テレビ鑑賞など自由に頂いている。また、体調によっては、職員の声かけによりベッドで休んで頂くこともある。エアコンの温度調節や窓を開け風を取り入れたりして心地よく休息及び入眠して頂ける様に努めている。 | | フットマッサージの資格を持つ職員がおり、その技能を活かしリラックスして頂ける様に支援している。 |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 61 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 洗濯物干し・たたみ・テーブル拭き・食事の下ごしらえなど役割を持って頂いた。歌が好きな方には、レクリエーションの中で中心的に歌って頂く機会をつくらして個人に応じた支援をしている。 | | 入居者様と共にレクリエーションで使う道具を作り、レクリエーションの内容をより充実させたい。 |
| 62 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 数名の入居者様は、少額のお金を自己管理されているが、それ以外の入居者様や高額となると管理者預かりを希望されるため施設が管理している。お金は、入居者様の希望により自由に買い物をして頂き支払いの時は必ず領収書を受け取り、おこづかい帳に収支を記入している。 | | |
| 63 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天候や入居者様の体調に応じて、声かけを行い朝日苑周辺の散歩を実施したり、買い物支援や野草摘みにも出かけている。 | | 定期的な、買い物支援が行える様に取組みたい。 |
| 64 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している | 毎年1回、ご家族にも声かけを行い全棟参加でバスハイクを実施している。毎月の行事でドライブを取り入れ各地域の催しものや行事に出かけている。 | | 毎月の行事計画を作成する際、各入居者様の意見を聞き希望に副える様な場所の設定に努めたい。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|--|-----|---|
| 65 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている | 入居者様の希望に応じて、電話をかけ話しをして頂いている。 | | 暑中見舞状や年賀状など出して頂き、ご家族や友人との繋がりを深めて頂くよう支援していきたい。 |
| 66 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 笑顔で挨拶したり お茶をだしてもてなし積極的にコミュニケーションを図り訪問しやすい雰囲気づくりに努めている。 | | 面会時には、行事案内の声かけをし当苑を知って頂き、また訪問して頂けるよう努めていきたい。 |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 67 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており 身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 入居者様の行動・状態・背景にある根本的な原因を明らかにするため、ミーティングで話し合い職員全員が理解し常に入居者様の立場となって身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | | |
| 68 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており 鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中は開放しているため、帰宅要望などで落ち着かれない方には、付き添い散歩や時間をかけて話しを聞くなどして対応している。 | | |
| 69 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 日中は、レクリエーション・コミュニケーションを通し入居者様全員の状態・行動パターンを把握している。常時、所在確認を行ない、夜間は細やかな巡視をして安全確認に努めている。 | | 入居者様の状態変化に気づき対応する事で安全に過ごして頂ける様に努めていきたい。 |
| 70 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 入居者様の心身の状態に応じて、本人が安全に活用できる物品かを考慮し危険を事前に防ぐ対応をしている。 | | |
| 71 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 毎月、ミーティングを行い個人に合わせた対応や日頃の見守りについて検討している。また、ひやりはっと事故報告書の作成により、同じパターンでの事故防止に取り組んでいる。 | | リスクマネジメント委員会で毎月ミーティングを開催し出来るだけ事故を防ぐための分析を行い、事故の原因や今後の予防対策について検討し事故発生時には、ご家族への報告・説明を行っている。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|---|-----|--|
| 72 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 入居者様の急変や事故発生時は直ちに看護師に報告し、医師からの指示を仰いで対応している。また、夜勤が1名の為、対応困難な時には、連絡して管理者及び他の職員が出勤し対応する様にしている。 | | 急変時、事故発生時の対応マニュアルは出来ているが、定期的な訓練が出来ていないため知識向上に向けて訓練を行っていきたい。 |
| 73 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回の避難訓練を実施し、消防署との連携をとって全職員が災害時の対応が出来る様に努めています。また、防火設備のメンテナンスを定期的に受けています。防火週間には、地域の夜回りに参加している。 | | |
| 74 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 入居説明の際、私物ベッドでベッド柵が付いていなかったため、家族に説明し職員と器具を検討し購入され取り付けて頂いたり、3点杖が使われていたが歩行が安定しなかったために、4点杖を検討し、ご家族に説明・理解を得て購入頂くと歩行バランスも良くなり、リスクが軽減に繋がった経緯があり、リスクがある時は家族に説明の場を持っている。 | | 今後も、リスクが考えられる際は、早期に避けられる様に案を練りその都度、ご家族への説明を行い安心・安楽に過ごして頂ける様に対応をしていきたい。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 75 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し対応に結び付けている | 毎日のバイタル測定や毎食の摂取量チェック、排泄チェック、身体測定を行い、体調の変化や異常の早期発見に努めています。変化や疑問点があれば小さなことでも管理者や看護師に報告している。 | | 緊急時などの対応の仕方や報告の流れを定期的に復習していきたい。 |
| 76 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬管理は、間違いがない様に、薬局で1包化にして頂き日付・氏名・服薬時まで記入してもらっている。服薬管理は、朝日苑の経営母体である松本医院にて管理して頂いています。また、薬の目的・副作用などは、薬処方カルテに綴じ分かる様にしている。 | | 誤薬などが起った時の対応は、松本医院に報告し、指示を仰いでいる。 |
| 77 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 排泄チェック表を作成し、毎日観察している。繊維の多い野菜を多く取り入れ、散歩などの軽運動を余暇活動にも取り込み便秘予防に努めている。 | | |
| 78 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後、各人歯磨き粉を使用し口腔内ケアを行っている。一人で出来ない入居者様には介助し、義歯の管理も行っている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|--|-----|--|
| 79 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 管理栄養士の専門的なアドバイスにより、栄養摂取量には問題ないが、油分が多いと指摘を受けそれに伴いドレッシングは、ノンオイルに変え、揚げ物は控えるよう改善した。食事やおやつ時はもちろん10時・15時・風呂上りに水分補給また、夜中に喉が渇く方がいるので薬のみやペットボトルにお茶を常備して水分補給をして頂いている。 | | 嚥下の悪い人、歯の悪い人の為にミキ食・一口大食・ミキサー食を作り嚥下が悪い場合はトロミ材でトロミをつけ食べて頂く。毎月、体重を量り食事量を調整していきたい。 |
| 80 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | インフルエンザやノロウイルスなど感染症が地域発生している時期は、玄関に貼り紙をして発熱・嘔吐・下痢・咳のある方の訪問を控えてもらう様をお願いしている。また、朝日苑で取り得る感染症(ノロウイルス・インフルエンザ・疥癬・MRSA・O157)のマニュアルや、感染予防から感染後の連絡体制のマニュアルを作成し、全職員が予防対策に努めている。 | | ノロウイルス予防の為、入居者様に二枚貝を提供しない様にして共に、全体ミーティングでは、職員が二枚貝を食べることを控えるように指導したり、来苑者の方もアルコール消毒をお願いしている。 |
| 81 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 定期的に冷蔵庫内の清掃・まな板の漂白を実施し、まな板や包丁は調理前の肉・魚、野菜用と調理後それぞれ区別している。肉・魚・卵の中心温度(79以上)を計って調理後2時間以内に提供している。また、食中毒が発生した場合に備え検食を取り14日間冷凍保存している。 | | 生野菜は、次亜塩素酸で消毒して提供し食品は開封後に日付を記入して賞味期限に関係なく早めに使う様になっている。また、中国産ギョーザ事件に伴い苑で使用している食材をリストアップし食材を見直し中国産の品物に代わり国産を使う様になっている。 |
| 2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 82 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 苑の外回りには、田んぼやイチゴハウスが見えて季節感いっぱい風景を感じることが出来ます。玄関入口には、季節に応じた花を植えた、門から玄関まで壁に手すりをつけ車椅子でも大丈夫な様にスロープとなっており、どなたでも安心して出入り出来る様に常に心がけている。 | | 苑の周りには定期的に清掃して入居者と一緒に草取りや花植え・植木の水やりをして、いつもきれいにしていきたい。 |
| 83 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないよう配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 家庭の温もりや季節感をあじわってもらうために手作りのカレンダー、フロアーには行事の思い出写真を飾っている。 | | フロアーは、西陽が入って眩しいため窓にはフィルム製の季節の写真を貼って対応している。きれいだと喜んでおられる。 |
| 84 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 広いスペースの一角にソファを置き、入居者同士の触れ合いまたは、歌を歌ったりレクリエーションをしたり一人ひとりの思い出を大切に過ごせる様にしている。 | | 難聴の方や、視力が弱い方が観やすい様にテレビはソファの近くに置いて入居者同士仲良く楽しんで頂いている。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|--|---|-------|---|
| 85 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室は全室、南向きと東向きに作られており エアコンを完備し荷物をゆったりと収納できる大きめのクローゼットを設けています。入居者様の馴染み物を用意され、想いのままに部屋作りをされている。 | | ご家族と相談して、使い慣れた物や馴染みの物もつと持ってきて頂く様にしていきたい。 |
| 86 | 換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 建物の構造において高気密・高換気システムを取り入れ部屋の空気が数時間で入れ替わる様になっています。また、窓は全て二重サッシを用い外気を遮断することによって部屋の湿度は保たれ、結露によるカビの発生もなく換気・空調の配慮を行っている。 | | エアコンにより こまめな温度調節を行い毎月エアコンや換気システムの吸気口の掃除を実施している。 |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 87 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 建物全館に亘り 手すり・バリアフリーなど安全性に配慮しており 入居者様の状態に合わせて車椅子や杖を使用し、自立した生活を送れる様に工夫している。 | | |
| 88 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 食事作り配膳 後片付け 掃除 洗濯物干し 洗濯物たたみを皆さん楽しんでお手伝いして下さいます。そんな時は会話もはずんで賑やかに過ごされている。 | | センター方式によるアセスメントに職員全員で取り組んでいます。一人ひとりの問題点 改善点を把握し、介護に活かしたい。 |
| 89 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるよう活かしている | 外気浴や景色を楽しめる様にウッドデッキを活用している。また、苑の外周りでは、散歩や水まき 畑での作業をして頂いている。 | | 園芸委員会の活動をはじめ四季折々の花や野菜作りを楽しみ、野菜を収穫し食事の時に食して頂いている。 |

| .サービスの成果に関する項目 | |
|---|-----------------------|
| 項目 | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 |
| 90 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の |
| | 利用者の 2/3 くらいの |
| | 利用者の 1/3 くらいの |
| | ほとんど掴んでいない |
| 91 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある |
| | 数日に 1 回程度ある |
| | たまにある |
| | ほとんどない |
| 92 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が |
| | 利用者の 2/3 くらいが |
| | 利用者の 1/3 くらいが |
| | ほとんどいない |
| 93 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が |
| | 利用者の 2/3 くらいが |
| | 利用者の 1/3 くらいが |
| | ほとんどいない |
| 94 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が |
| | 利用者の 2/3 くらいが |
| | 利用者の 1/3 くらいが |
| | ほとんどいない |
| 95 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が |
| | 利用者の 2/3 くらいが |
| | 利用者の 1/3 くらいが |
| | ほとんどいない |
| 96 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が |
| | 利用者の 2/3 くらいが |
| | 利用者の 1/3 くらいが |
| | ほとんどいない |
| 97 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と |
| | 家族の 2/3 くらいと |
| | 家族の 1/3 くらいと |
| | ほとんどできていない |

| 項目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--|
| 98 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように | |
| | | 数日に1回程度 | |
| | | たまに | |
| | | ほとんどない | |
| 99 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている | |
| | | 少しずつ増えている | |
| | | あまり増えていない | |
| | | 全くない | |
| 100 | 職員は、生き活きと働いている | ほぼ全ての職員が | |
| | | 職員の 2/3 くらいが | |
| | | 職員の 1/3 くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 101 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の 2/3 くらいが | |
| | | 利用者の 1/3 くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 102 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が | |
| | | 家族等の 2/3 くらいが | |
| | | 家族等の 1/3 くらいが | |
| | | ほとんどできていない | |

【時に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご家族や知人、及び地域の方々が気軽に来苑されやすい家庭的な雰囲気作りを心がけている。いつも笑顔で毎日の音読や嚙下体操を行い、声を出す様に心がけています。生活に張りを持ってもらう様に毎週、おやつ作りを職員と一緒に会話を楽しみながら実施しており、季節にあったおやつを作りおいしく頂いている。